



平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年10月22日

上場会社名 リコーリース株式会社 上場取引所 東
 コード番号 8566 URL <http://www.r-lease.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 松石 秀隆
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員 (氏名) 長田 泰賢 TEL 03-6204-0608
 四半期報告書提出予定日 平成26年11月7日 配当支払開始予定日 平成26年12月2日
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有
 四半期決算説明会開催の有無： 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切り捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績（平成26年4月1日～平成26年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	128,487	6.3	8,225	2.5	8,151	2.6	5,173	6.4
26年3月期第2四半期	120,841	3.1	8,023	△7.5	7,942	△8.4	4,863	△6.9

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 5,122百万円 (0.6%) 26年3月期第2四半期 5,093百万円 (△2.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	165.72	—
26年3月期第2四半期	155.81	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第2四半期	796,216	131,568	16.5	4,200.32
26年3月期	784,969	127,179	16.1	4,060.90

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 131,120百万円 26年3月期 126,768百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	21.50	—	23.50	45.00
27年3月期	—	22.50	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	22.50	45.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想（平成26年4月1日～平成27年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	260,000	5.7	16,400	2.1	16,200	2.0	10,000	4.7	320.34

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年3月期2Q	31,243,223株	26年3月期	31,243,223株
② 期末自己株式数	27年3月期2Q	26,340株	26年3月期	26,333株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年3月期2Q	31,216,904株	26年3月期2Q	31,217,054株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

(第2四半期連結累計期間の連結経営成績)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	増減	
			金額	伸率(%)
売上高(百万円)	120,841	128,487	7,646	6.3
営業利益(百万円)	8,023	8,225	201	2.5
経常利益(百万円)	7,942	8,151	209	2.6
四半期純利益(百万円)	4,863	5,173	309	6.4
1株当たり四半期純利益	155円81銭	165円72銭	9円91銭	—
(取扱高)				
リース・割賦事業(百万円)	150,262	157,252	6,989	4.7
金融サービス事業(百万円)	10,932	11,737	804	7.4
取扱高合計(百万円)	161,195	168,989	7,794	4.8

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、平成26年4月に実施された消費税率引き上げの影響により、国内景気の回復に鈍さが見られるようになりました。リース業界においては、足元の平成26年8月累計のリース取扱高が、前年同期比14.1%減少の1兆6,613億円となり、5ヵ月連続で前年同月割れとなりました(公益社団法人リース事業協会統計)。

一方、内閣府による景気の基調判断は7月までの「足踏み」から「下方への局面変化」に下方修正したものの、8月機械受注統計は3ヵ月連続のプラスに転じました。また、平成26年9月の日銀短観では、設備投資計画が企業規模にかかわらず製造業・非製造業共に上方修正となり、設備投資面の先行指標において今後の回復期待が見られるようになりました。

このような経済環境の中、当社グループにおいては、当期よりスタートさせた新3ヵ年中期経営計画(中計)に基づき、バンダー営業を軸として優良な契約獲得の増大を図りました。「事務用機器・情報関連機器」や「医療機器」がパソコン更新需要の反動減や消費増税の影響等とともに低調であったものの、注力分野である環境分野への取り組みが奏功した結果、総取扱高は前年同期比4.8%増加の1,689億円となり営業資産残高も過去最高となりました。

これらの結果、平成27年3月期第2四半期の連結業績は増収増益となりました。売上高は前年同期比6.3%増加し1,284億円となりました。貸倒費用は低位ながら通増傾向が見られ、経費の増加をリース等の粗利の増加で吸収し、営業利益は前年同期比2.5%増加の82億円となりました。四半期純利益は、前年同期比6.4%増加し51億円となりました。

	売上高(百万円)			セグメント利益(百万円)			営業資産(百万円)		
	前四半期 累計	当四半期 累計	増減	前四半期 累計	当四半期 累計	増減	前期末	当四半期 末	増減
リース・割賦	117,367	124,682	7,315	7,000	7,165	165	563,262	573,350	10,087
金融サービス	2,746	2,980	234	1,307	1,394	87	99,312	101,873	2,560
報告セグメント計	120,113	127,663	7,550	8,308	8,560	252	662,575	675,223	12,647
その他	728	824	95	120	119	△0	10,635	8,048	△2,586
合計	120,841	128,487	7,646	8,428	8,680	251	673,210	683,272	10,061

【リース・割賦】

リース・割賦事業においては、太陽光発電設備やLEDの環境関連機器等を扱う環境分野の伸長や、建設機械の需要獲得、併せて大手顧客層との取引が増加した結果、リース・割賦全体の取扱高は1,572億円と前年同期比4.7%増加しました。その結果、営業資産残高は前期末に比べ100億円増加し、5,733億円となりました。

リース・割賦事業の売上高は前年同期比6.2%増加し1,246億円となり、セグメント利益は前年同期比2.4%増加し71億円となりました。

【金融サービス】

金融サービス事業は、住宅ローンなどの個人向け融資が消費税の影響等で減少しましたが、法人向け融資が伸長した結果、取扱高が前年同期比7.4%増加の117億円となりました。営業資産残高は、前期末から25億円増加し1,018億円となりました。また、融資に加え手数料収入についても、集金代行サービスが月間取り扱い件数が113万件になり堅調に推移したことから、売上高は前年同期比8.5%増加し29億円となりました。セグメント利益は前年同期比6.7%増加し13億94百万円となりました。

【その他】

その他の事業は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、計測・校正・機器点検等の受託技術サービス、及びリコーグループ会社への融資・ファクタリング取引等が含まれています。売上高は前年同期比13.1%増加の8億円、セグメント利益は1億19百万円となりました。

また、その他の事業の営業資産残高は、前期末に比べ25億円減少し、80億円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の状況)

	前連結会計年度末 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間末 (平成26年9月30日)	増減	
			金額	伸率(%)
総資産(百万円)	784,969	796,216	11,246	1.4
*営業資産(百万円)	673,210	683,272	10,061	1.5
営業資産以外(百万円)	111,758	112,943	1,184	1.1
純資産(百万円)	127,179	131,568	4,388	3.5
自己資本比率(%)	16.1	16.5	0.4ポイント	

*営業資産には報告セグメントの営業資産に加え、その他事業の営業資産を含めております。

【総資産】

総資産は、前期末に比べ営業資産が100億円増加したことなどにより、7,962億円となりました。

【純資産】

純資産は当四半期純利益による51億円の増加と、剰余金の期末配当7億円による減少等で、前期末に比べ43億円増加し、1,315億円となりました。自己資本比率は前期末の16.1%から0.4ポイントプラスの16.5%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

	前第2四半期 連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期 連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー(百万円)	△21,933	△29,068	△7,135
投資活動によるキャッシュ・フロー(百万円)	△290	△224	65
財務活動によるキャッシュ・フロー(百万円)	24,228	19,430	△4,798
現金及び現金同等物四半期末残高(百万円)	2,838	689	△2,148

【営業活動によるキャッシュ・フロー】

営業活動によるキャッシュ・フローは、前第2四半期連結累計期間が219億円の支出に対して、当第2四半期連結累計期間は290億円の支出となり71億円の支出の増加となりました。この支出の増加は、仕入債務の減少額(支出)が前年同期と比較して、23億円から128億円へ105億支出が増加し、賃貸資産の取得による支出が37億円から65億円へ27億円支出が増加する一方で、リース債権及びリース投資資産の増加額(支出)が114億円から42億円へ71億円支出が減少したことなどが主な要因となります。

【投資活動によるキャッシュ・フロー】

投資活動によるキャッシュ・フローは、前第2四半期連結累計期間に比べて65百万円支出が減少し、2億円の支出となりました。これは主に社用資産の取得によるものであります。

【財務活動によるキャッシュ・フロー】

財務活動によるキャッシュ・フローは、前第2四半期連結累計期間242億円の収入から当第2四半期連結累計期間194億円の収入となりました。前第2四半期連結累計期間においては、借入返済による純支出9億円、社債の発行による収入199億円、コマーシャル・ペーパーの発行による収入60億円、期末配当金の支払額7億円を要因として242億円の資金収入となりました。当第2四半期連結累計期間は、借入による純収入192億円、社債発行による収入199億円、社債の償還による支出350億円、コマーシャル・ペーパーの発行による収入160億円、期末配当金の支払額7億円を要因として194億円の資金収入となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表 (A)	255,000	16,400	16,200	10,000	320.34
今回修正予想 (B)	260,000	16,400	16,200	10,000	320.34
増減額 (B - A)	5,000	—	—	—	—
増減率 (%)	2.0	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成26年3月期)	245,904	16,059	15,884	9,550	305.94

(修正の理由)

第2四半期までの業績動向及び今後の見通しを踏まえ、通期の業績予想を上記のように前回予想値から修正いたします。

上記の業績予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる場合があることをご承知おきください。

2. サマリー情報 (注記事項) に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,553	689
受取手形及び売掛金	20	15
割賦債権	65,840	69,545
未収賃貸債権	31,460	34,570
リース債権及びリース投資資産	489,671	493,910
営業貸付金	109,947	109,922
その他の営業貸付債権	39,858	41,213
その他の営業資産	8,049	7,571
賃貸料等未収入金	6,898	6,671
その他の流動資産	12,606	19,259
貸倒引当金	△9,381	△8,970
流動資産合計	765,526	774,399
固定資産		
有形固定資産		
賃貸資産	12,132	14,762
社用資産	496	450
有形固定資産合計	12,629	15,212
無形固定資産		
賃貸資産	188	178
その他の無形固定資産	1,799	1,748
無形固定資産合計	1,987	1,926
投資その他の資産		
投資有価証券	1,605	1,591
破産更生債権等	1,800	1,895
その他	2,010	1,836
貸倒引当金	△589	△646
投資その他の資産合計	4,826	4,677
固定資産合計	19,443	21,817
資産合計	784,969	796,216

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	32,535	19,640
短期借入金	127,944	114,605
1年内償還予定の社債	35,000	20,000
1年内返済予定の長期借入金	75,059	73,044
コマーシャル・ペーパー	18,000	34,000
未払法人税等	3,568	3,011
割賦未実現利益	4,569	5,045
賞与引当金	715	734
役員賞与引当金	23	—
その他の流動負債	38,395	38,347
流動負債合計	335,812	308,430
固定負債		
社債	80,000	80,000
長期借入金	237,647	272,242
退職給付に係る負債	1,242	1,008
その他の固定負債	3,088	2,967
固定負債合計	321,977	356,217
負債合計	657,789	664,647
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,896	7,896
資本剰余金	10,160	10,160
利益剰余金	108,767	113,207
自己株式	△47	△47
株主資本合計	126,777	131,217
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	355	304
退職給付に係る調整累計額	△364	△401
その他の包括利益累計額合計	△9	△96
少数株主持分	411	447
純資産合計	127,179	131,568
負債純資産合計	784,969	796,216

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	120,841	128,487
売上原価	106,549	113,615
売上総利益	14,292	14,872
販売費及び一般管理費	6,269	6,647
営業利益	8,023	8,225
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	9	12
その他の営業外収益	9	8
営業外収益合計	19	20
営業外費用		
支払利息	9	7
社債発行費	78	78
投資事業組合運用損	8	7
その他の営業外費用	3	2
営業外費用合計	100	94
経常利益	7,942	8,151
税金等調整前四半期純利益	7,942	8,151
法人税、住民税及び事業税	3,101	2,751
法人税等調整額	△59	190
法人税等合計	3,042	2,942
少数株主損益調整前四半期純利益	4,900	5,209
少数株主利益	36	35
四半期純利益	4,863	5,173

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	4,900	5,209
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	193	△50
退職給付に係る調整額	—	△36
その他の包括利益合計	193	△86
四半期包括利益	5,093	5,122
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,057	5,085
少数株主に係る四半期包括利益	36	36

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	7,942	8,151
賃貸資産減価償却費	2,755	3,080
社用資産減価償却費及び除却損	398	358
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△776	△354
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△4	18
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△23	△23
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	44	—
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	—	△15
受取利息及び受取配当金	△14	△20
資金原価及び支払利息	1,002	793
社債発行費	78	78
投資事業組合運用損益 (△は益)	8	7
割賦債権の増減額 (△は増加)	△5,928	△3,229
未収賃貸債権の増減額 (△は増加)	△4,572	△3,109
リース債権及びリース投資資産の増減額 (△は増加)	△11,436	△4,238
営業貸付金の増減額 (△は増加)	△412	25
その他の営業貸付債権の増減額 (△は増加)	1,210	△1,354
賃貸料等未収入金の増減額 (△は増加)	658	226
賃貸資産の取得による支出	△3,780	△6,531
破産更生債権等の増減額 (△は増加)	△43	△94
仕入債務の増減額 (△は減少)	△2,331	△12,895
その他	△4,678	△5,734
小計	△19,902	△24,861
利息及び配当金の受取額	18	42
利息の支払額	△1,037	△1,002
法人税等の支払額	△1,011	△3,247
営業活動によるキャッシュ・フロー	△21,933	△29,068
投資活動によるキャッシュ・フロー		
社用資産の取得による支出	△390	△151
投資有価証券の取得による支出	△71	△71
その他	171	△1
投資活動によるキャッシュ・フロー	△290	△224
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△13,247	△13,338
コマーシャル・ペーパーの純増減額 (△は減少)	6,000	16,000
長期借入れによる収入	53,325	52,615
長期借入金の返済による支出	△41,068	△20,035
社債の発行による収入	19,921	19,921
社債の償還による支出	—	△35,000
配当金の支払額	△702	△733
その他	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	24,228	19,430
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	2,004	△9,863
現金及び現金同等物の期首残高	834	10,553
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,838	689

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	リース・割賦	金融サービス	計		
売上高					
外部顧客への売上高	117,367	2,746	120,113	728	120,841
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	117,367	2,746	120,113	728	120,841
セグメント利益	7,000	1,307	8,308	120	8,428

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、計測・校正・機器点検等の受託技術サービス、リコーグループ会社への融資、リコーグループのファクタリング等を含んでおりません。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	8,308
「その他」の区分の利益	120
全社費用(注)	△404
四半期連結損益計算書の営業利益	8,023

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	リース・割賦	金融サービス	計		
売上高					
外部顧客への売上高	124,682	2,980	127,663	824	128,487
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	124,682	2,980	127,663	824	128,487
セグメント利益	7,165	1,394	8,560	119	8,680

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、計測・校正・機器点検等の受託技術サービス、リコーグループ会社への融資、リコーグループのファクタリング等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	8,560
「その他」の区分の利益	119
全社費用(注)	△454
四半期連結損益計算書の営業利益	8,225

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。